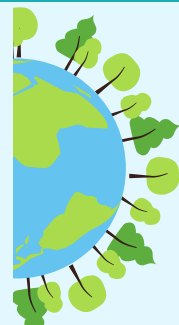




第一回 三鷹・気候市民会議

こんな三鷹にしたい！ 三鷹市民として、
地球市民として一緒に未来像を考えてみませんか？



参加者募集

地球温暖化のペースが年々加速する中、三鷹市の現状を学び、
三鷹の未来について話し合い、その結果を行政に提言します。
一人ひとりの想いを、よりよい未来へつなげませんか？

参加について

定員：約30名
市内在住・在勤・在学・在活動の方
環境問題や地域の未来に関心のある方なら、
どなたでも大歓迎です！

申し込みについて

申込締め切り 8月31日(月)

4回連続でご参加ください。

申込多数の場合：9月7日頃までにメールにて結果連絡
<https://forms.gle/G9KaExmJzL4hEmFd6>



プロジェクトの目的

学び、話し合う



気候変動や三鷹市の現状を学び、
三鷹の未来についてみんなで
話し合います。

提言する



話し合いの結果をまとめ、
行政に提言し、関連計画への
反映を目指します。

つながり、行動する



環境に関心のある市民や団体の
つながりを築き、地域の取組を
加速させます。

討議テーマ



エネルギー

ゼロカーボンに向けた
省エネや必要な取組など



みどり

三鷹の緑化の現状、
課題と必要な取組など

アドバイザー

白井 信雄 教授

武蔵野大学 サステナビリティ学科

環境政策、特に気候アクションの共創の専門家として、
「気候変動の地元学」等の実践の豊富な経験をもとに、
本プロジェクトをサポート頂きます。

開催スケジュール(4回連続講座)

三鷹市講師派遣事業

1 9/20 (日) 13時30分～17時
会場：生涯学習センターホール

2 10/24 (土) 13時30分～16時30分
会場：三鷹市市民協働センター

3 11/21 (土) 13時30分～16時30分
会場：調整中

三鷹市講師派遣事業

4 12/26 (土) 13時30分～17時
会場：生涯学習センターホール

基礎情報共有と2050年三鷹の目指す姿を話し合おう

- ・基調講演：気候危機と市民主導の市民会議の意義（白井信雄教授/武蔵野大学）
- ・情報提供：ゼロカーボンシティへの取り組みと課題
(三鷹市生活環境部 調整担当部長 茂木勝俊氏)
- ・グループワーク：2050年の三鷹の目指す姿

課題とアイデアをみんなで考えよう

- ・情報提供：三鷹の緑化の現状や課題/今後の取り組み
(三鷹市都市整備部 緑と公園課長 奥嶋 亮氏)
- ・情報提供：エネルギー(調整中)
- ・グループワーク：テーマ別課題とアイデア出し

アイデアをどう実現するかをみんなで考えよう

- ・情報提供(エネルギー)：カーボン・マイナス住宅の実例・設備と工夫
(PV-Net理事 田中 稔氏)
- ・情報提供(みどり)：ICUキャンパスの森/雑木林プロジェクトの紹介と
地域社会との連携 (ICU 環境推進部 岡山明弘氏)
- ・グループワーク：テーマ別解決策の検討

提言をとりまとめよう

- ・講演：行動変容で社会は変わる、脱炭素を進める仕組みづくり（白井信雄教授）
- ・グループワーク：テーマ別提言のまとめ

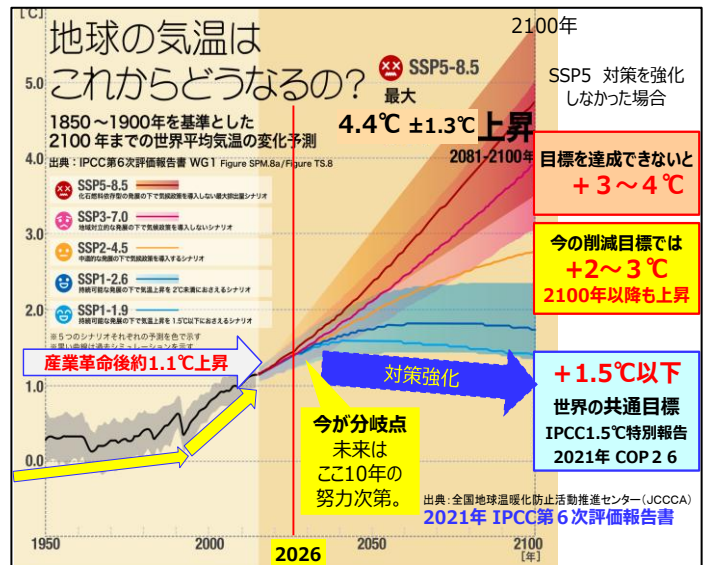


気候危機の基礎知識

●あと何℃上がる？

温暖化の影響で猛暑や豪雨、強い台風が増えています。地球全体の年平均気温はまだ1℃ちょっとしか上がっていません（産業革命前からの250年間）。世界各国の今の削減目標では2100年までに+2～3℃以上上昇し2100年以降も気温上昇が続いてしまいます。

今すぐに温室効果ガス削減に本気で取り組めば、2100年の気温上昇を1.5℃以下に抑えられる可能性もあります。**将来世代に引き渡す気候が、ここ10年の私たちの行動で決まります。**



●酷暑日はどれくらい増える？

温暖化が+4℃のレベルに達した場合、「最高気温40℃超え（酷暑日）」の発生頻度は今の8倍くらいに増え、最高気温も45℃に達すると予測されています。（IPCC＝気候変動に関する政府間パネル第6次評価報告）

●海面上昇70m！？

温暖化によりグリーンランドや南極の分厚い氷が溶け始めています。もしも全部溶けて海に流れ出たとすると海面は約70m上昇し、世界中の「○○平野」が水没してしまいます。

全部溶けきるまでには数百年以上かかりますが、氷床の融解は**ある温度を越えると止められなくなる（= Tipping Point 臨界点）**と予測されています。グリーンランド氷床のTipping Pointは「産業革命前から+1℃～+3℃」と予測されており、既にTippingゾーンに入っていますので、CO2削減は「待ったなし」の状況です。

